

近藤正先生略歴及び著作目録

学 歴

- 1983 - 85 南イリノイ大学, 哲学部博士課程, 単位取得満期退学
 1976 - 77 コロンビア大学, ティーチャーズカレッジ, 修士課程修了
 1972 - 74 京都外国語大学, 修士課程修了
 1967 - 72 京都外国語大学英米語学科, 学部卒業

職 歴

- 1998/4 - 2000/3 ハーバード大学東アジア言語文明学部, 客員研究員
 1992/4 - 2014/3 成蹊大学経済学部, 教授
 1986/4 - 92/3 東海大学外国語教育センター, 助教授
 1983/8 - 85/12 南イリノイ大学哲学部, TA
 1982/8 - 83/6 ランカスター大学, 英国文化振興会研究員
 1979/4 - 83/5 産業能率大学, 講師
 1976/8 - 77/7 コロンビア大学東アジア言語文化学部, TA

学会における活動等

- | | | |
|--------------------|---------------------------------------|------|
| 2014年 3月～現在に至る | 社団法人日本連句協会 | 常任理事 |
| 2010年 11月～現在に至る | 公益財団法人落柿舎保存会 | 評議員 |
| 2009年 3月～2014年 2月 | 連句協会 | 常任理事 |
| 2007年 4月～2010年 10月 | 財団法人落柿舎保存会 | 評議員 |
| 2007年 4月～現在に至る | 宗教法人義仲寺保存会 | 総代 |
| 2007年 4月～2009年 2月 | 連句協会 | 理事 |
| 1992年 4月～98年 3月 | 文体論学会 | 会員 |
| 1991年 5月～98年 3月 | 日本英語表現学会 | 会員 |
| 1989年 12月～98年 3月 | HIA (Haiku International Association) | 参与 |
| 1989年 3月～98年 3月 | 国際連句協会 | 会長 |
| 1986年 4月～現在に至る | 連句協会 | 会員 |

1984年～98年3月	APA (American Philosophical Association)	会員
1980年～82年	Tokyo Renku Group	主宰
1979年～98年3月	JACET (Japan Association of College English Teachers)	会員
1979年～98年3月	JALT (Japan Association of Language Teachers)	会員
1977年～98年3月	TESOL (Teachers of Eng. to Speakers of Other Lang's)	会員
1971年～現在に至る	HSA (Haiku Society of America)	会員

社会における活動等

2010年7月～現在に至る	慈眼舎連句会	主宰 (拈華連句会を吸収)
2007年7月～2009年7月	石川カレッジ・コンソーシアム	連句講師
2007年10月～2011年11月	国民文化祭京都連句の祭典	企画委員
2005年10月～現在に至る	連句国連	発起人
2000年10月～2012年10月	拈華連句会	主宰
1995年11月～現在に至る	伊勢原連句会	主宰

著作目録

主要論文

2014年3月 『世界へ飛んだ蛙：芭蕉から地球俳句へ』 東京：里文出版。

概要：エズラパウンドが初めての英語の俳句を書いてから、2013年で100年が経った。現在では世界中の多くの言語で俳句が書かれている。日本の俳句も外国の俳句も含めて、地球人類の俳句を地球俳句と呼ぶことにする。そこから見える俳句の普遍性と新しい価値観を提案した。

2013年11月 「ソロー 72候：1852年の場合」, 『アジア太平洋研究』 東京：成蹊大学。

概要：国際的な俳句や連句の場では、季語研究の必要性が強く認識されている。日本の季語の基盤は「二十四節気」と「七十二候」なので、まずは世界各地に於いて地元の「七十二候」を作製することが、季語研究のための重要な基礎である。本論では、ヘンリー・D・ソローの『ジャーナル』から「七十二候」を作製する方法を紹介した。

1996年4月 「世界連句：芭蕉精神の普遍性」, 『イロニア』 京都：新学社。

概要：国際社会において連句とは何かということを紹介するための、体系的で必要十分な内容を探求した。芭蕉俳諧の普遍的原理を基にして、記号学的手法によ

り、連句というジャンルの全体像を提案した。

1994年 “Shorter Renku,” with William J. Higginson, in *Frog Pond* (17-4), New York: Haiku Society of America, pp. 10-15.

概要：国際連句実作ワークショップに於いては、長時間を当てることが出来ない
ので、1～2時間の短い時間でも1巻を巻いた満足感が得られる形式が欲しい。そ
こで、本論文では「二十韻」と「十二調」という短い形式を紹介した。

1992年3月 「真言密教：解脱の記号学」、『東海大学紀要外国語教育センター』（第12号）

概要：チャールズ・S・パースを祖とする現代記号学のルーツを遡るとアリスト
テレスに至る。一方、東洋の記号学研究は、一貫した歴史観に到達していないよ
うに見える。そこで本稿では、空海の真言密教を、東洋を代表する記号学と見て、
そのルーツと発展の過程を概観するとともに、パースの記号学を「科学的記号学」
とし、空海の理論を「解脱の記号学」と見ることによって、両者の比較を試みた。

学術論文

2013年11月 「ソロー 72 候：1852年の場合」、『アジア太平洋研究』東京：成蹊大学。

2009年6月 “The 72 annual spells in Tokyo, Japan and 72 summer spells in Virtasalmi, Finland.”
Co-author with Sirkku M. Sky Hiltunen. *Journal of Poetry Therapy* (22-2), Routledge,
pp. 89-97.

2008年11月 「季語に秘められた地球温暖化対策の叡知」、『アジア太平洋研究』東京：成蹊
大学, pp. 21-38。

2002年10月 「日中連句研究：文体の探求」『成蹊大学経済学部論集』（33－1），東京：成蹊
大学経済学部学会, pp. 143-160。

1997年12月 「日中国際連句研究会：日中連句の可能性」、『成蹊大学一般研究報告』（30－1），
東京：成蹊大学, pp. 1-33。

1996年4月 「世界連句：芭蕉精神の普遍性」、『イロニア』京都：新学社。

1994年 “Shorter Renku,” with William J. Higginson, in *Frog Pond* (17-4), New York: Haiku
Society of America, pp. 10-15.

1994年2月 “Link and Shift: A Practical Guide to Renku Composition,” with William J. Higginson,
『成蹊大学経済学部論集』（24－2），東京：成蹊大学経済学部学会, pp.116-25.

1992年10月 “Haiku and Renku Reunited,” 『成蹊大学経済学部論集』（23－1），東京：成蹊大
学経済学部学会, 90－100。

1992年3月 「真言密教：解脱の記号学」、『東海大学紀要外国語教育センター』（第12号）

1991年4月 “Principles of Universal Haiku Grammar: A Semiotic Study of Haiku Creation,” 『言語

文化』(第8号), 明治学院大学言語文化研究所。

- 1989年 “Charles S. Peirce and Kukai: A Comparative Study of Their Semiotic,” 『東海大学外国語教育センター紀要』(第10号), 117 - 123。
- 1988年3月 “Peirce’s Classification System of Sciences: The Process of its Development,” 『飯山論争』(5巻, 1号), 東京工芸大女子短大。
- 1988年 “Metaphysics of Japanese Skin Metaphors,” 『東海大学外国語教育センター紀要』(第9号), 109 - 113。
- 1987年 “Semiotic Study of Heat Metaphor,” 『東海大学外国語教育センター紀要』(第8号), 81 - 90。
- 1986年 “Peirce’s Interpretant: An Introductory Survey,” 『東海大学外国語教育センター紀要』(第7号), 79 - 94。

編書

- 2014年2月 竹田竹梵と共編, 『連句曼荼羅: 聖俗の超時空』 東京: 連句国連。
- 2013年2月 竹田竹梵と共編, 『連聯: 国交回復40周年記念日中国際連句訪中記』 東京: 連句国連。
- 2006年9月 編, 『芭蕉絶句の心: 福田眞久追悼集』 京都: 落柿舎。
- 2006年5月 編, 『伊勢原の心敬』 伊勢原: 伊勢原連句会。

翻訳

- 2011年5月 『無迹より: ドラゴ・シュタンブック俳句選集』 東京: 里文出版。
- 2001年 *Over the Wave: Selected haiku of Ritsuo Okada.* Translation with William J. Higginson. Santa Fe; From Here Press.
- 1997年 *Red Fuji: Selected Haiku of Yatsuka Ishihara,* translation with William J. Higginson, Santa Fe: From Here Press.
- 1997年4月 *From The Deepest Place in the Universe.* 柳井道弘詩選集, 京都: ナカニシヤ出版。

その他

- 2014年11月 連句ワークショップ, アーカンソー州ホットスプリングズ芸術祭。(地元団体招待)
- 2014年8月 連句ワークショップ;アルゼンチンの4大学(社会科学大学, 高等教員養成学校, ラ・プラタ国立大学, コルドバ国立大学)。(国際交流基金支援)
- 2014年3月 俳句ワークショップ;台湾高雄市義守大学。

- 2014年3月 連句ワークショップ；ボストン音楽院。
- 2014年2月 俳句ワークショップ；インドネシア，ボゴール農科大学。
- 2013年3月 俳句ワークショップ；台湾高雄市義守大学。
- 2012年9月 国交回復40周年記念日中国際連句訪中団団長：「詩的等位性：日中国際連句の門」（講演）；於北京市中日友好協会。
- 2011年10月 日・中・英・西，四か国語国際連句「京や秋」二十韻；国民文化祭京都2011，連句の祭典。京都：百万遍知恩寺（寒菊堂連句基金支援）
参加者：ラファエル・デグトラ（ボストン俳句協会会長），鄭民欽（北京市北方工業大学教授），アウレリオ・アシアイン（関西外大教授）
- 2011年5月 日・中・英、三か国語国際連句「鷹二つ」十二調、『風』（京都府連句協会機関誌第3号、2011年5月発行）（寒菊堂連句基金支援）
参加者：ラファエル・デグトラ（ボストン俳句協会会長）、鄭民欽（北京市北方工業大学教授）、他。
- 2010年10月 スウェーデン俳句事情研究会主催（於amu，恵比寿）；
出席：カイ・フォークマン（スウェーデン俳句協会会長），有馬朗人（国際俳句交流協会会長），ドラゴ・シュタンブック（駐日クロアチア大使当時）。
- 2010年4月 「連句は世界の文化遺産」『連句協会報』東京：連句協会。
- 2009年12月 連句ワークショップ；於駐クロアチア日本大使館，ザグレブ。（クロアチア俳句協会招待）
- 2009年 「二十四節気」テキスト制作とビデオ監修，東京：NHK インターナショナル。
- 2009年7月 「連句の肖像」（講演）；石川大学コンソーシアム，連句講座。
- 2008年9月 「連句パフォーマンス（序）」『連句年鑑』（平成20年版）東京：連句協会。
- 2008年7月 「季語と地球温暖化」（講演）；石川大学コンソーシアム，連句講座。
- 2008年6月 「連句パフォーマンス」（講演）と連句ワークショップ；イタリア，チェゼナーティコ。ボローニャ大学主催国際青年演劇祭「詩人の湊」。（ボローニャ大学招待）
- 2007年9月 「連句ワークショップ」；クロアチア，プーラ高校。（プーラ市招待）
- 2007年7月 「連句三態論」（講演）；石川大学コンソーシアム，連句講座。
- 2007年6月 「七十二候」（講演）と連句ワークショップ；第2回EU俳句大会，於スウェーデン。
- 2006年11月 「近代日本における連句と俳句の興亡」（講演）と連句ワークショップ；第1回EU俳句大会，於パリ。
- 2006年10月 「谷間の百合または加賀のモナリザ」（講演）；石川県白山市主催「千代女の里国際俳句大会」。（主催団体招待）
- 2005年6月 「連句形式について」（講演）と連句ワークショップ；ルーマニア国際俳句大会，

於コンスタンツァ。(主催団体招待)

2005年3月 日・中・英三か国語国際連句会主催；於奈良県吉野。

出席：ラファエル・デグルトラ（ボストン俳協会会長）、鄭民欽（北京市北方工業大学教授）（寒菊堂連句基金支援）

2004年10月 芭蕉精神を世界に発信する「世界俳諧フュージョン2004」を企画実行；三重県主催，於三重県伊賀上野市。(主催団体支援)

2004年9月 日中連句ツアー団長；大連，瀋陽，長春の大学において連句ワークショップ。

2004年4月 NHKラジオ国際放送俳句番組；2011年3月で終了。

2002年8月 日中国際連句コンファレンス主催；豊田市桜花学園大学

2001年6月 「連句パフォーマンス」(講演)と実演；於ボストン音楽院，サンフランシスコ日本領事館，ホノルル大学の三か所。(外務省海外広報課講師派遣プログラム)

2001年5月 「日中国際連句の門」(講演)と連句ワークショップ；北京大学国際詩歌大会。訪中団団長として訪問を企画。

2000年2月 連句パフォーマンス「Renku Performance Kaleidoscopic Mandala」公演；ハーバード大学，ローウェルホールで企画・上演。

1999年11月 連句ワークショップ；ホットスプリングズ芸術祭。(主催団体招待)

1999年2月 「アメリカにおける連歌研究の展望」講演；ハーバード大学東アジア言語文化学部，フォード基金セミナー。

1998年11月 「ソローの春」講演；ホットスプリングズ芸術祭。(主催団体招待)

1998年9月 連句ワークショップ；アメリカ俳句協会大会，於コロンビア大学，NYC。

1998年8月 連句百韻を巻く；ボストン俳句協会の会員二名と三吟。

1998年6月 「心敬と芭蕉」講演；ホットスプリングズでのHSA全国大会に於いて。

1998年5月 「心敬と芭蕉」講演；アイルメールでのカナダ俳句協会全国大会に於いて。

1997年9月 日中国際連句の提案；北京に於いて関係者の会合を企画・実行。

1997年4月 日米国際俳句コンファレンスを企画・実行；於東京。

1995年10月 日米国際俳句コンファレンスを企画・実行；於シカゴ。

1994年10月 国際連句コロキウム企画・実行；於成蹊大学。

1994年10月 国際連句大会企画・実行；伊賀上野芭蕉祭，於菅原神社

1992年8月 芭蕉300年忌記念北米連句紀行企画・実行；カーメル，サンフランシスコ，サントフェ，ミルウォーキー，ニューヨークに於いて蕉風連句ワークショップ。

1989年9月 「Peirce and Buddhism」発表；パース生誕150年記念国際大会，於ハーバード大学。

以上